

文字の並べ替え①（むかしの暮らしと遊び）

かなを並べ替えて言葉にする | 脳トレ

なまえ _____

ひづけ _____

ばらばらの文字を並べ替えて、手がかりに合う言葉にしましょう。
ひらがなで1マス1字ずつ。漢字でもかまいません（マスが余ってもよい）。

れい 夏の軒先でゆれて鳴る飾り うふんり → ふうりん

(1) 野良仕事のとときにはいた、すそをしぼったズボン

もぺん →

(2) 輪にした糸を指にかけて、橋や川の形を作る遊び

やりとあ →

(3) 汗をふいたり、頭に巻いたりする木綿の布

ぬていぐ →

(4) 糸でつないだ玉を、皿や先にのせて遊ぶ木のおもちゃ

まけだん →

(5) すすきなどの草を厚く重ねてふいた、むかしの農家の屋根

ぶやかき →

(6) 十円玉をにぎって子どもが通った、あめやラムネを売る店

しがやだ →

(7) 湯を入れておくと、なかなか冷めない入れもの

まんびうほ →

(8) 拍子木を鳴らして子どもを集め、絵をめくって語る見せもの

いかしみば →

できた数 () / 8問 かかった時間 () 分 ※書かなくてもかまいません



文字の並べ替え②（季節と年中行事）

かなを並べ替えて言葉にする | 脳トレ

なまえ _____

ひづけ _____

ばらばらの文字を並べ替えて、手がかりに合う言葉にしましょう。
ひらがなで1マス1字ずつ。漢字でもかまいません（マスが余ってもよい）。

れい 七夕の別名 し つ ほ り ま → ほ し ま つ り

- (1) 新年に初めて、毛筆で絵や文字をかくこと

か め ぞ き →

- (2) 秋の夜にリンリンと鳴く、すがたの小さな生きもの

む ず し す →

- (3) その年はじめて、冬の朝に地面や草が白く凍る現象

つ も し は →

- (4) 夏の土用に、衣類を風にあてて干すこと

し し む ぼ →

- (5) 正月や盆に、はたらく人が実家へ帰る休み

い や り ぶ →

- (6) 大晦日の夜、新しい年を迎えること

し し と こ →

- (7) 正月の飾りを燃やし、一年の無事をいのる行事

や ど ど き ん →

- (8) その年はじめて降る、冬の小雨

は ぐ し つ れ →

できた数 () / 8問 かかった時間 () 分 ※書かなくてもかまいません



文字の並べ替え③（台所と食卓）

仲間の名前だけが手がかり | 脳トレ

なまえ _____

ひづけ _____

ばらばらの文字を並べ替えて、手がかりの仲間に合う言葉にしましょう。
ひらがなで1マス1字ずつ。漢字でもかまいません（マスが余ってもよい）。

れい 料理の道具 ち す ぱ り → す り ば ち

(1) 料理の道具

ぎ す こ り

→

--	--	--	--

(2) 料理の道具

な ぶ べ た

→

--	--	--	--

(3) 台所の入れもの

び め つ こ

→

--	--	--	--

(4) 台所の入れもの

が み め ず

→

--	--	--	--

(5) 料理の道具

か な つ べ み

→

--	--	--	--	--

(6) 料理の道具

は い す き ん

→

--	--	--	--	--

(7) 料理の道具

ご が ん は ま

→

--	--	--	--	--

(8) 家の中の場所

ろ ば り い た

→

--	--	--	--	--

できた数 () / 8問 かかった時間 () 分 ※書かなくてもかまいません



文字の並べ替え④（ことわざの並べ替え）

言葉のカードを並べて、ことわざにする | 脳トレ

なまえ _____

ひづけ _____

ばらばらに並んだ言葉のカードを、正しい順にならべて、
1つの「ことわざ」にしましょう。

れい 小さなものを重ねていくと、やがて大きなものに育つという教え

やまと なる ちりも つもれば → ちりも つもれば やまと なる

(1) 一人の考えには限りがあるが、大勢で話し合えば良い案が浮かぶという教え

よれば ちえ さんにん もんじゅの

(2) せまい場所しか経験がないと、もっと広いところがあるとわからないといういましめ

しらず いのなかの かわず たいかいを

(3) たやすく見えることでも、用心してかかるべきだといういましめ

かわも あさい わたれ ふかく

(4) 欲ばって同時に2つをねらうと、どちらも失敗するといういましめ

おうものは いっとうをも にとを えず

(5) 身近で見聞きしていると、教わらなくても自分から覚えてしまうものだという教え

きょうを よむ こぞう もんぜんの ならわぬ

できたことわざの数 () / 5問 かかった時間 () 分 (書かなくてもよい)



文字の並べ替え⑤（しあげ）

手がかりなし。字数だけで言葉にする | 脳トレ

なまえ _____

ひづけ _____

ばらばらの文字を並べ替えて言葉にしましょう。手がかりは字数だけです。
ひらがなで1マス1字ずつ。漢字でもかまいません（マスが余ってもよい）。

れい い ご は た → は ご い た

- (1) **ば い た ど** →
- (2) **ま つ は が** →
- (3) **り か つ や** →
- (4) **み る ず ま ぐ** →
- (5) **か ぼ く ん れ** →
- (6) **ま ひ お さ な** →
- (7) **ふ じ く ゆ た** →
- (8) **う て り ま た** →

できた数（ ） / 8問 かかった時間（ ） 分 ※書かなくてもかまいません



文字の並べ替え 発展①（まざった2つの言葉）

なまえ _____

まざったカードから2つの言葉を見つける | 脳トレ

ひづけ _____

2つの言葉のカードがまざっています。手がかりに合う言葉を見つけて書き、使ったカードに／を引きましょう。のこったカードで、もう1つの言葉ができます。

れい ~~み~~ し や ~~び~~ ~~す~~ も け

ア 七輪や火鉢の中で、赤くおこっている火

す み び

イ 冬の寒さで手足の指が赤くはれて、かゆくなるもの

し も や け

(1) て く て す と ご こ

ア 火鉢やこんろに置いて、
やかんや鍋をのせる三本足の台

--	--	--

イ 夏に男の人がはいた、
ひざ下まである白い下ばき

--	--	--	--

(2) ま ど ぬ う こ け か た

ア 長い棒2本に足をのせる台をつけ、
乗って歩く遊び

--	--	--	--

イ 毎日手でかきまぜて、
きゅうりやなすを漬けこむ、かめの中身

--	--	--	--

(3) た げ お じ こ は き ば

ア 玄関に置いて、はきものをしまう戸だな

--	--	--	--

イ 平たいガラスの粒を指で打ち当てて、
取り合う遊び

--	--	--	--

(4) い と わ ご な び べ ま

ア 回るひもを、
足にかけないように何度もこえる遊び

--	--	--	--

イ ひもを巻いて投げ、
おけの上でぶつけ合う鉄のおもちゃ

--	--	--	--

見つけた言葉 () / 8

※／は引かなくてもかまいません。

※漢字で書いてもかまいません。



文字の並べ替え 発展②（頭の子でかくれた言葉）

なまえ _____

並べ替えた言葉の頭の子をつなぐ | 脳トレ

ひづけ _____

ばらばらの文字を並べ替えて言葉にし、太いわくの字を上から順につなぎましょう。

床の間につるす、書や絵を表装して巻いたもの
れい く か じ け → **か** **け** **じ** **く** → 頭の子は「か」

(1) 綿を入れて、寒い日に上からはおる短い上着

ん **ん** **は** **て** →

(2) 運動会で二組に分かれ、太い縄をたぐり寄せ合う競技

ひ **な** **つ** **き** →

(3) 夏の午後に急に降り出す、激しい雨

だ **う** **ち** **ゆ** →

(4) 大豆をいって粉にした、おもちにまぶすもの

な **き** **こ** →

太わくの字を上から順につなぐと（冬にちなんだ言葉）→

(5) そのままでは口がすばまり、干して甘くしてから食べる柿

し **が** **ぶ** **き** →

(6) 朝、決めた時刻にジリリと鳴って起こしてくれる時計

ざ **し** **め** **ま** →

(7) めるりとした小さなきのこで、みそ汁によく入れるもの

め **な** **こ** →

(8) 食堂でもらう、使う前にぱきっと2本に割る木のはし

わ **ば** **り** **し** →

太わくの字を上から順につなぐと（お正月にちなんだ言葉）→

できた数 () / 8 かくれた言葉 () / 2



文字の並べ替え①（むかしの暮らしと遊び）【こたえ】

なまえ _____

かなを並べ替えて言葉にする | 脳トレ

ひづけ _____

ばらばらの文字を並べ替えて、手がかりに合う言葉にしましょう。
ひらがなで1マス1字ずつ。漢字でもかまいません（マスが余ってもよい）。

れい 夏の軒先でゆれて鳴る飾り う ふ ん り → ふ う り ん

- (1) 野良仕事のとときにはいた、すそをしぼったズボン

も ペ ん → も ん ペ

- (2) 輪にした糸を指にかけて、橋や川の形を作る遊び

や り と あ → あ や と り

- (3) 汗をふいたり、頭に巻いたりする木綿の布

ぬ て い ぐ → て め ぐ い

- (4) 糸でつないだ玉を、皿や先にのせて遊ぶ木のおもちゃ

ま け だ ん → け ん だ ま

- (5) すすきなどの草を厚く重ねてふいた、むかしの農家の屋根

ぶ や か き → か や ぶ き

- (6) 十円玉をにぎって子どもが通った、あめやラムネを売る店

し が や だ → だ が し や

- (7) 湯を入れておくと、なかなか冷めない入れもの

ま ん び う ほ → ま ほ う び ん

- (8) 拍子木を鳴らして子どもを集め、絵をめくって語る見せもの

い か し み ば → か み し ば い

声かけの例：「もんぺで畑に出たことはありますか」と、答えから思い出話につなげましょう。
※漢字やカタカナで書いても正解です（例：手拭い・魔法瓶・紙芝居）。

文字の並べ替え②（季節と年中行事）【こたえ】

なまえ _____

かなを並べ替えて言葉にする | 脳トレ

ひづけ _____

ばらばらの文字を並べ替えて、手がかりに合う言葉にしましょう。
ひらがなで1マス1字ずつ。漢字でもかまいません（マスが余ってもよい）。

れい七夕の別名 し つ ほ り ま → ほ し ま つ り

- (1) 新年に初めて、毛筆で絵や文字をかくこと

か め ぞ き → か き ぞ め

- (2) 秋の夜にリンリンと鳴く、すがたの小さな生きもの

む ず し す → す ず む し

- (3) その年はじめて、冬の朝に地面や草が白く凍る現象

つ も し は → は つ し も

- (4) 夏の土用に、衣類を風にあてて干すこと

し し む ぼ → む し ぼ し

- (5) 正月や盆に、はたらく人が実家へ帰る休み

い や り ぶ → や ぶ い り

- (6) 大晦日の夜、新しい年を迎えること

し し と こ → と し こ し

- (7) 正月の飾りを燃やし、一年の無事をいのる行事

や ど ど き ん → ど ん ど や き

- (8) その年はじめて降る、冬の小雨

は ぐ し つ れ → は つ し ぐ れ

声かけの例：「かきぞめはしたことがありますか」と、答えから思い出話につなげましょう。
※漢字やカタカナで書いても正解です。

文字の並べ替え③（台所と食卓）【こたえ】

なまえ _____

仲間の名前だけが手がかり | 脳トレ

ひづけ _____

ばらばらの文字を並べ替えて、手がかりの仲間に合う言葉にしましょう。
ひらがなで1マス1字ずつ。漢字でもかまいません（マスが余ってもよい）。

れい 料理の道具 ち す ぱ り → す り ば ち

(1) 料理の道具

ぎ す こ り → す り こ ぎ

(2) 料理の道具

な ぶ べ た → な べ ぶ た

(3) 台所の入れもの

び め つ こ → こ め び つ

(4) 台所の入れもの

が み め ず → み ず が め

(5) 料理の道具

か な つ べ み → な べ つ か み

(6) 料理の道具

は い す き ん → す い は ん き

(7) 料理の道具

ご が ん は ま → ご は ん が ま

(8) 家の中の場所

ろ ば り い た → い ろ り ば た

声かけの例：「お宅にはどんな台所の道具がありますか」と、答えから思い出話につなげましょう。
※漢字やカタカナで書いても正解です。

文字の並べ替え④（ことわざの並べ替え）【こたえ】

なまえ _____

言葉のカードを並べて、ことわざにする | 脳トレ

ひづけ _____

ばらばらに並んだ言葉のカードを、正しい順にならべて、
1つの「ことわざ」にしましょう。

れい 小さなものを重ねていくと、やがて大きなものに育つという教え

やまと なる ちりも つもれば → **ちりも つもれば やまと なる**

(1) 一人の考えには限りがあるが、大勢で話し合えば良い案が浮かぶという教え

よれば ちえ さんにん もんじゅの

さんにん よれば もんじゅの ちえ

(2) せまい場所しか経験がないと、もっと広いところがあるとわからないといういましめ

しらず いのなかの かわず たいかいを

いのなかの かわず たいかいを しらず

(3) たやすく見えることでも、用心してかかるべきだといういましめ

かわも あさい わたれ ふかく

あさい かわも ふかく わたれ

(4) 欲ばって同時に2つをねらうと、どちらも失敗するといういましめ

おうものは いっとうをも にとを えず

にとを おうものは いっとうをも えず

(5) 身近で見聞きしていると、教わらなくても自分から覚えてしまうものだという教え

きょうを よむ こぞう もんぜんの ならわぬ

もんぜんの こぞう ならわぬ きょうを よむ

声かけの例：「このことわざ、使ったことはありますか」と、意味から昔の話につなげましょう。

※送りがなや細かい表記のちがいは正解です（例：「追う者は」を「追うものは」等）。

文字の並べ替え⑤（しあげ）【こたえ】

手がかりなし。字数だけで言葉にする | 脳トレ

なまえ _____

ひづけ _____

ばらばらの文字を並べ替えて言葉にしましょう。手がかりは字数だけです。
ひらがなで1マス1字ずつ。漢字でもかまいません（マスが余ってもよい）。

れい い ご は た → は ご い た

- (1) **ば い た ど** → **い ど ば た**
- (2) **ま つ は が** → **は つ が ま**
- (3) **り か つ や** → **か や つ り**
- (4) **み る ず ま ぐ** → **み ず ぐ る ま**
- (5) **か ぼ く ん れ** → **か く れ ん ぼ**
- (6) **ま ひ お さ な** → **お ひ な さ ま**
- (7) **ふ じ く ゆ た** → **ふ ゆ じ た く**
- (8) **う て り ま た** → **て ま り う た**

声かけの例：「てまりうたで覚えている歌はありますか」と、答えから思い出話につなげましょう。
※漢字やカタカナで書いても正解です。

文字の並べ替え 発展①（まざった2つの言葉）【こたえ】

まざったカードから2つの言葉を見つける | 脳トレ

なまえ _____

ひづけ _____

2つの言葉のカードがまざっています。手がかりに合う言葉を見つけて書き、使ったカードに／を引きましょう。のこったカードで、もう1つの言葉ができます。

れい ~~み~~ ~~し~~ ~~や~~ ~~び~~ ~~す~~ ~~も~~ ~~け~~

ア 七輪や火鉢の中で、赤くおこっている火

~~す~~ ~~み~~ ~~び~~
~~し~~ ~~も~~ ~~や~~ ~~け~~

イ 冬の寒さで手足の指が赤くはれて、かゆくなるもの

(1) ~~て~~ ~~く~~ ~~て~~ ~~す~~ ~~と~~ ~~こ~~ ~~こ~~

ア 火鉢やこんろに置いて、
やかんや鍋をのせる三本足の台

~~こ~~ ~~と~~ ~~く~~

イ 夏に男の人がはいた、
ひざ下まである白い下ばき

~~す~~ ~~て~~ ~~て~~ ~~こ~~

(2) ~~ま~~ ~~ど~~ ~~ぬ~~ ~~う~~ ~~こ~~ ~~け~~ ~~か~~ ~~た~~

ア 長い棒2本に足をのせる台をつけ、
乗って歩く遊び

~~た~~ ~~け~~ ~~う~~ ~~ま~~

イ 毎日手でかきまぜて、
きゅうりやなすを漬けこむ、かめの中身

~~ぬ~~ ~~か~~ ~~ど~~ ~~こ~~

(3) ~~た~~ ~~げ~~ ~~お~~ ~~じ~~ ~~こ~~ ~~は~~ ~~き~~ ~~ば~~

ア 玄関に置いて、はきものをしまう戸だな

~~げ~~ ~~た~~ ~~ば~~ ~~こ~~

イ 平たいガラスの粒を指で打ち当てて、
取り合う遊び

~~お~~ ~~は~~ ~~じ~~ ~~き~~

(4) ~~い~~ ~~と~~ ~~わ~~ ~~ご~~ ~~な~~ ~~び~~ ~~べ~~ ~~ま~~

ア 回るひもを、
足にかけないように何度もこえる遊び

~~な~~ ~~わ~~ ~~と~~ ~~び~~

イ ひもを巻いて投げ、
おけの上でぶつけ合う鉄のおもちゃ

~~べ~~ ~~い~~ ~~ご~~ ~~ま~~

声かけの例：「べいごまは、どこで回して遊びましたか」と、答えから思い出話につなげましょう。
※アとイを入れかえて書いても、2つとも見つけていれば正解です。／は引かなくても正解です。
※漢字（五徳・竹馬・下駄箱）やカタカナで書いても正解です。

文字の並べ替え 発展②（頭の子でかくれた言葉）【こたえ】

なまえ _____

並べ替えた言葉の頭の子をつなぐ | 脳トレ

ひづけ _____

ばらばらの文字を並べ替えて言葉にし、太いわくの字を上から順につなぎましょう。

床の間につるす、書や絵を表装して巻いたもの
れい く か じ け → **か** **け** **じ** **く** → 頭の子は「か」

(1) 綿を入れて、寒い日に上からはおる短い上着

ん **ん** **は** **て** → **は** **ん** **て** **ん**

(2) 運動会で二組に分かれ、太い縄をたぐり寄せ合う競技

ひ **な** **つ** **き** → **つ** **な** **ひ** **き**

(3) 夏の午後に急に降り出す、激しい雨

だ **う** **ち** **ゆ** → **ゆ** **う** **だ** **ち**

(4) 大豆をいって粉にした、おもちにまぶすもの

な **き** **こ** → **き** **な** **こ**

太わくの字を上から順につなぐと（冬にちなんだ言葉）→

は **つ** **ゆ** **き**

(5) そのままでは口がすばまり、干して甘くしてから食べる柿

し **が** **ぶ** **き** → **し** **ぶ** **が** **き**

(6) 朝、決めた時刻にジリリと鳴って起こしてくれる時計

ざ **し** **め** **ま** → **め** **ざ** **ま** **し**

(7) めるりとした小さなきのこで、みそ汁によく入れるもの

め **な** **こ** → **な** **め** **こ**

(8) 食堂でもらう、使う前にぱきっと2本に割る木のはし

わ **ば** **り** **し** → **わ** **り** **ば** **し**

太わくの字を上から順につなぐと（お正月にちなんだ言葉）→

し **め** **な** **わ**

声かけの例：「初雪が降ると、何を出しましたか」と、答えから季節の思い出につなげましょう。

※かくれた言葉がおかしいときは、太わくの字をもう一度見直しましょう。

※途中の問が空欄でも、かくれた言葉が正しければ、その太わくの字は正解です。

※漢字（初雪・しめ縄）やカタカナで書いても正解です。